

# 新年あけましておめでとうございます



▲今年も厳島神社(弁天さん)へ初詣。正月三が日は天候が穏やかでお参りしやすい日が続いてくれました

## ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷  
広報委員会

洲本市中川原町中川原 28 番地 1  
TEL: 0799-25-8550  
FAX: 0799-25-8551  
ホームページ  
<http://hyoufuku.main.jp/>  
メール  
[info@hyoufuku.main.jp](mailto:info@hyoufuku.main.jp)

大和の国にて生をえた遁世の僧・忍性は、官僧ですら穢れ極まりと忌避し、人にして人に非ざると貶められた貧窮の民、『癩者・病者・不具者』の救済に尽くした。

文殊の菩薩道をつらぬき、悪政・悪世を糾す、忍性のその多大なる福業は「慈悲に過ぎた」とも評された。

姿かたちは遠く、阿鼻地獄・鬼畜が跋扈する現世にありて、われら五百羅漢となりて、困窮の淵に追いやられる人々に寄り添う福業を、今こそ、…守り高めねばなるまい。

### 福田に真実の福業を 新春のごあいさつ

淡路ふくろうの郷施設長

大矢 暹

ふくろうの郷をこの洲本・中川原という『福田』に迎えられ九年目を迎えます。きびしくそして温かいみなさまの叱咤激励と、役職員の踏ん張りで、この四月には新しい福業が「中川原ふれあいセンター」に加わります。

一つには、「障害者就労支援事業所・おのころの家」の移転拡充です。二倍以上の広さを得て、さらには、ふれあいセンター 全ての部門と連携した、生きがいある新たな仕事の開拓を目指します。

二つ目は、高齢者デイサービスです。人生の半ばで、また年を重ねることで聞こえなくなるとなっております。引きこもり

聴のみなさんの願い「負い目や気兼ねなく、地域のみなさんと互いに包みあい、再び、人と交わる楽しみ・喜び・張り合いを、共に創りだしたい」への共感です。

もとより、難聴者の社会的・心理的孤立を高齢者デイサービスでという発想は、全国的にも例がありません。介護認定のハードルも高く、保険報酬が入らなければ経営も容易ではありません。保険報酬が入らない事業には関与しないということでは福祉法人は本来的ありようから外れるでしょう。

制度がないからこそ困窮に追いやられていくのです。困窮の人々の真実の声と姿を共有し世に届ける福業が制度を誕生させるのです。

その意味でも、現在集計と分析の進められている、県内の聴覚障害児者実態調査事業は、神戸市内はもとより、兵庫県全域に「誰もが排除されない、じやまもの扱いされない、誰

もが必要な存在とされる」ための福業を、国や行政に対し、同時にふくろうの郷と、私たちの福祉法人へも要請されるでしょう。福祉法人の本来的のありようの発揮に向けて、職員一同、さらに心を一つにした踏ん張りどきです。

消費税八%、介護保険制度改定、厳しい法人財政の中ではありますが、一層のご指導とご支援をお願いし、新年のごあいさつといたします。



元日、ふくろうの郷にておせちづくりに参加されたみなさんと



ここでのんびりと  
過ごしたい。  
故郷の広島へ里帰  
りもしたい。

ふくろうの郷での作業や外出を  
楽しんで過ごしたい。  
明石海峡の見える温泉へ行って、  
温泉につかり、のんびりしたい。



# 2014年 年男、年女今年の 抱負を語る



福島豊子さん  
昭和5年3月2日生

北川他久美さん  
昭和17年2月1日生



いつまでも  
元気で過ご  
したい。

仕事を沢山したい。  
手芸・人形を作りたい。  
旅行に行きたい。  
温泉に行きたい。  
お寿司を食べに行きたい。  
体が元気なので、100歳  
まで頑張ります。



北風章子さん  
昭和5年2月5日生

酒井道恵子さん  
昭和5年2月26日生



## ふれあいセンター老人デイサービスへの期待の声

中川原高齢者・障がい者地  
域ふれあいセンター内に4月  
から開所予定の老人デイサー  
ビスへ期待の聲が高まってい  
ます。  
今月は施設の利用を希望さ  
れる皆様からの声を掲載しま  
す。

● 近くにできれば何かあっても  
すぐ飛んで行けるから安心。  
(家族)

● 小規模でやると聞いている。  
ゆつくり過ごせるだろうし地元  
の人も多く利用するだろうか  
ら本人も安心するのでは？  
完成すれば本人と一緒に見  
に行きたい。  
(家族)

● 今は地域のデイサービスを  
利用しているが、難聴なので周  
りが何を言っているかわからず  
不安を感じることもある。  
デイサービスのとなりにおの  
ころの家ができると聞いている。

● 利用者第1号でお願いしよ  
うかな。  
(家族)

おのころには知り合いもたく  
さんいるので安心して利用でき  
るのでは？と期待している。  
(80代女性とその家族)

(80代女性とその家族)

● 今まで何度も「デイサービス  
どう？」と誘われたが、知らな  
いところに行くのは嫌で断つて  
きた。

● 自分の老後のことを考える  
と不安になることがあるので、  
地元にもこのような施設ができる  
ことは非常に喜ばしい。  
動ける間はふれあい広場桜  
ヶ丘に遊びにきたりおたがいさ  
ま中川原で活動し、お世話が  
必要になったら今度は利用者  
としてきます。  
(60代男性)

(60代男性)

だけど、ふれあいセンターの  
デイサービスならおのころの家  
が隣にあつて知り合いもたくさ  
んいるので楽しそう。  
行ってみたい。  
(60代男性)

(60代男性)

皆様からのご期待の声、有難  
うございます。開所までもうし  
ばらくお待ち下さい。

### 年末の地域と交流「しめ縄づくりと餅つき」

12月21日、今回で8回目を迎えた「しめ縄づくりと餅つき大会」。今年も中川原地区老人クラブ連合会の駒勢会長様をはじめ、地域交流会みなさまのご支援、協力で、入居者と楽しく交流しながら、しめ縄80本余、もち9kgを付き終えました。



▲楽しく交流しながらしめ縄づくり  
▼威勢のよいかげ声「よいしょ〜」で



### 2014年の 淡路ふくろうの郷を 占う漢字は 「和」



恒例となつてきた「来年(2014年)を占う漢字」。松栄寺の笹津住職は「なごやかに、平和に、仲よく」との願いを込めて『和』と書かれました。地域交流会の北岡様は「はばたく年」と『翔』。当法人評議員の平野様は「何事も楽しく」と『楽』の字をそれぞれ力強く書かれました。これらの漢字が表すような年

(総務 橋詰)

### クリスマス会で「お・も・て・な・し」



### 淡路ふくろうの郷



▲サンタクロースから入居者全員にプレゼント



▲デザートに大満足の谷さん

12月25日ふくろうの郷でクリスマス会を行いました。今年は何年のクリスマスとは違い、コース料理でのふるまいでした。事前準備、飾り作り、お料理と担当職員で力を合わせ挑戦しました。当日ははばたきと過ぎ、時間通りに進まず反省点も残りましたが、何よりも「良かったよ」「お疲れ様」「素敵なおクリスマスを過ごせたよ」と入居者や職員からの言葉が嬉しかったです。多くのボランティアの方、職員の協力のもと無事に成功させることができました。ありがとうございました。今回の取り組みをきっかけにまた来年も素敵なクリスマス会にしたいと思えます。

### 夜の神戸は雨だった



▲雨でも夜の神戸を満喫してきました

12月12日「神戸ルミナリエ」を見に神戸まで外出しました。ルミナリエを見るのは、ほとんどの方が初めてとのこと、前日から、楽しみにされていました。当日、神戸長田で少し早目の夕食をしていると、突然雨が降り出しました。降り続く雨で、ルミナリエを見ることはできませんでしたが、急ぎよ、近くの「モザイク」と「ウミエ」に変更し夜の神戸を満喫してきました。帰りの車内で、「来年はルミナリエ見たいねえ。また連れて行ってね」との入居者の声を聞き、再チャレンジしたいと思います。

(生活援助員 山西)

**おのころの家**



〒656-0025  
洲本市本町3丁目1-10  
清水マンション1F  
TEL・FAX 0799-26-0956

**いつも仲良し  
武内さんのサポート役  
森はつみさん**

森さんは平成19年より利用されています。淡路市内で一人暮らしをされています。

若い時は洲本温泉ホテルで働かれていました。辞めた後、淡路市特産のカーネーションのハウス栽培を手伝いに行かれたりしていました。

おのころの家は週に1回の利用でしたが、最近はおのころに来ると「みんなと会えるし、おしゃべりできて楽しい」と言われ、11月から週2回の利用になったり、神戸の行事にも参加されたりしています。

**88才いっまでも  
お元気な武内さん**

武内千代美さんは平成19年から利用されています。



2年前、手話サークル例会で  
浴衣を着ていた武内さん・森さん

来られた当時はご主人が元気でした。今は一人ですが同じ敷地内で娘さん一家が生活されています。

農業をされていて、平成19年当初は朝、草刈り機を使ってひと仕事してからおのころに来られるという具合でした。

おのころには森さんと同様、以前は週1回の利用でしたが11月より週2回利用されています。その他に一般のデイサービスを利用されていますが、聴こえないということで、意志疎通がむずかしく、本人さんの希望で何か所かわわられています。やはり同じ聴こえない障害を持っている仲間がいるという事で安心できる場所を求められています。



おのころの家に来るといつも隣同士

先日も帰りの送迎の時、自宅前で降りる際に車内にいる利用者の方に「今日は楽しかったな。」と話されていました。職員として喜んでおられる武内さんの声が聞けてとても嬉しく思いました。

おのころに来られる人はみんな「話したい、話を聞いてほしい」と思っておられます。気兼ねなくおしゃべりできる場所を求めておられます。

利用者さんのニーズにできるだけこたえられる場であり、職員である様に頑張りたいと思います。

(生活支援員 藤本)

**おのころ屋**



〒656-0025  
洲本市本町7丁目3-41  
営業日時：月～金 9:00～18:00  
TEL・FAX 0799-22-6133

**「聴障ネット」より  
オープン2台を頂く**

ひょうご聴障ネットから補助を頂いて、購入したオープン2台を12月17日に設置完了しました。現在は温度調節や試し焼きをし、新しい年にはフル稼働してより一層美味しいパンを焼けるように頑張っているところです。

焼き菓子も固定客が増え、クリスマスシーズンにはプレゼント用にと可愛くラッピングをしてお持ち帰りされます。



フル稼働のオープン2台



クリスマスプレゼントとしてサンタの袋に入ったクッキー

地域の保育所からも昨年に引き続き、園児へのクリスマスプレゼントとしてサンタの袋に入ったクッキー百五十袋のご注文がありました。一つひとつ手作りで袋詰をするためお店に並ぶまで時間がかかりますが、お客様の「美味しかったよ!」の聲がとても励みになります。

昨年も皆様方には大変お世話になり、スタッフ一同、心から感謝しております。

新しい年も皆様方に喜んで頂ける商品を作っていきたいと思しますので宜しくお願い致します。

(職業指導員 岡本)

**淡路聴覚障害者  
センター便り**

洲本市港 2-26  
洲本市健康福祉館 3階

### 顔が見える関係作りの 積み重ねを

#### 移動相談(五色地域)から



12月12日(木)、ろう者、難聴者の家庭を訪問しました。家の奥で人影、物音はするけれども、玄関のベルを押しても聞こえず、出て来られないことが多いです。廊下を叩いて響きで感じられる方、よく知った方のお宅では、部屋まで行って、驚いて気づかれる方々です。

### 難聴者のミニ交流会に お誘いして

1月に聞く読話教室とミニ交流会についてお誘いしました。Aさんは「知った人おったら行きやすいけどな。そない言



ミニ交流会? あんたが迎えにきてくれるんやったら、行ってみよか。顔見知りができるとええなあ...

(竹内)

うてくれるんやったら、一回行ってごうか。バス停まではよう行けへんから家まで来てくれるんか。知らん人来てくれてもわからんからあんた来てよー

ビスは非常に少ないのが現状です。

### 気兼ねなく人と出会え、 一緒に温かい食事を

またBさん宅では、家族さんが「もう畑もしよらんし。デイサービスにもどこにも行かんと、寝とるんよ、全然聞こえらんで。起こしてくるわ」と、起こしてきてくれました。AさんもBさんも1月の難聴者のミニ交流会に初めて参加されることになりました。

この日は、この冬一番の冷え込みでしたが、ほとんどの家が暖房もつけずにおられました。センターができてから今までの訪問で顔見知りになり、ゆつくりお話しすることでミニ交流会に行ってみようかなと思つて下さる方も増えてきました。

### 手うすい難聴者の 福祉サービ

聞こえにくさは、日によつても違い、手帳の等級では軽度でも暮らしにくさは人によつて異なります。聴覚障害でも重度でなければ来訪者を光つてお知らせする「お知らせランプ」の設置はすべて自己負担になり、受けられるサー

今後は中川原ふれあいセンターで来年4月に開所予定のデイサービスに通つていただき、日常的に集まり、人と会つて、聞こえないことに気兼ねせずにあたたかい食事を一緒にいただけるようにおすすめしていきたいと考えています。



10月より4回開催されたブラッシュアップ講座2。県障害福祉課職員の池上さんを講師に統一試験講座にむけて技術学習を行いました。「人は気持がこもっているからことばは出てくる。気持を理解して読むこと」を基本に学習を重ねました

### 仲間と共に学ぶ!

☆手話通訳・要約筆記の  
スキルアップをめざして☆



12/21 兵通研淡路班とセンター共催で合同学習会を開催しました。今回のテーマ「設置通訳者の役割」について、まず平松氏より他県で設置通訳者が実際に関わったケースについて説明を受けた後、登録通訳者と設置通訳者の連携について意見交換しました。

12/10 県聴覚障害者情報センター小西氏を招き、登録要約筆記者研修会を開催。今、要約筆記者派遣制度が、大きく変わろうとしています。通訳者養成、また統一試験制度への挑戦など、これからの通訳者の心構えについてお話いただきま



11/15 手話奉仕員養成講座「聴覚障害者に関わる施設見学」でおのこの家を訪問、通所者の作品を手取る受講者。きれいなできばえに関心し、「これいいね。」と購入する方も。このあと、おのこの屋、淡路聴覚障害者協会の活動についても学ん



# 続・地域を語る

## 第61号

### 「明神さん」と親しまれる

#### 厚浜諏訪神社

畑田 巍

の通り。

・ 社殿の創祀年月未詳で、享保一二(一七二七)年の官記から既に祭祀が行われていた。

・ 享保二十(一七三五) 五月 西の鳥居建立

・ 寛政九(一七九七) 年四月 神殿上棟

・ 明治六(一八七三) 年二月 村社に列せられる

・ 明治二十(一八八七) 年一月 神楽講社創設

・ 明治四十一(一九〇八) 年九月 本殿・拝殿上棟

・ 明治四十二(一九〇九) 年十月 本殿・拝殿竣工(村誌)

・ 平成二十三(二〇一一) 年十月 本殿・拝殿・待合所・他の祭り処等、大新改築

さて、神楽講社については、五人の発起人を中心に、厚浜の人々は、津名・洲本・三原へ手分けして、明神信仰の功德を説明して廻り、講社員への入会をすゝめたもの

昔、長野県諏訪町に鎮座する諏訪大社から勧請された社で、「建御名方富命」が祭神、出雲の国を治めていた大己貴命は、素戔嗚尊から六代目に当たる。そのお子達、事代主命は出雲の国を、建御名方命は諏訪の国を、兄弟で治めていた。弟は、天照の使いの者と戦ったことから、『日本一の軍神』と讃えられ、後に諏訪の地を拓いたので、『農耕の神』と呼ばれた。又、人の病を手当てしたり、最期に龍となつて昇天したと言ひ伝えられている。(古事記より) 格式高く、由緒も正しく、非凡な力の持ち主なので、「明神」と呼ばれる。

社殿及び祭祀の変遷は、次

員への入会をすゝめたもの

で、その努力は徐々に報われ、流行病の年など、多数の参拝者で賑わったという。全盛期は、各町村の講社員は三千名。その世話人七十余名に達した。大祭日は大勢の人々で境内は埋まったとある。(村誌)

最近では、参詣者も世話人さんと、限られつつあるのが現状で、今尚、ご盡力を賜っておられる方々には、感謝の外ありません。

祭日は、次の通り。

一月五日 新年祭

四月十一日 春季大祭(前日宵祭)

七月五日 夏祭

十月十一日 秋季大祭(前日宵祭)



### いつもご支援ありがとうございます

▼洲本市五色町の鹿児島様から立派なレモンをいただきました。



▲洲本市の白石様から干支にちなんだ木工細工の馬と天使をいただきました。



### ご協力ありがとうございました。

年末年始、お手伝いいただいたボランティアの皆さま

12月21日のしめ縄・もちつきに始まり、25日のクリスマス会、29日、年明けて元旦、2日のおせち料理の盛り付け、3日、4日の初詣など、年末年始の恒例行事にご協力いただいた皆さま、お忙しいところありがとうございました。

おかげさまをもちまして晴れやかな気持ちで新年を迎えることができました。



◀きれいに盛り付けられたおせち料理

▶地域の方のご協力をいただいた、玄関を飾る門松



本年もかわりませず、ご支援、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。(総務：橋詰)

### 作品介绍



「初めも」  
谷 妙子さん(81歳)

### ふくろう大学 書道講座

12月10日